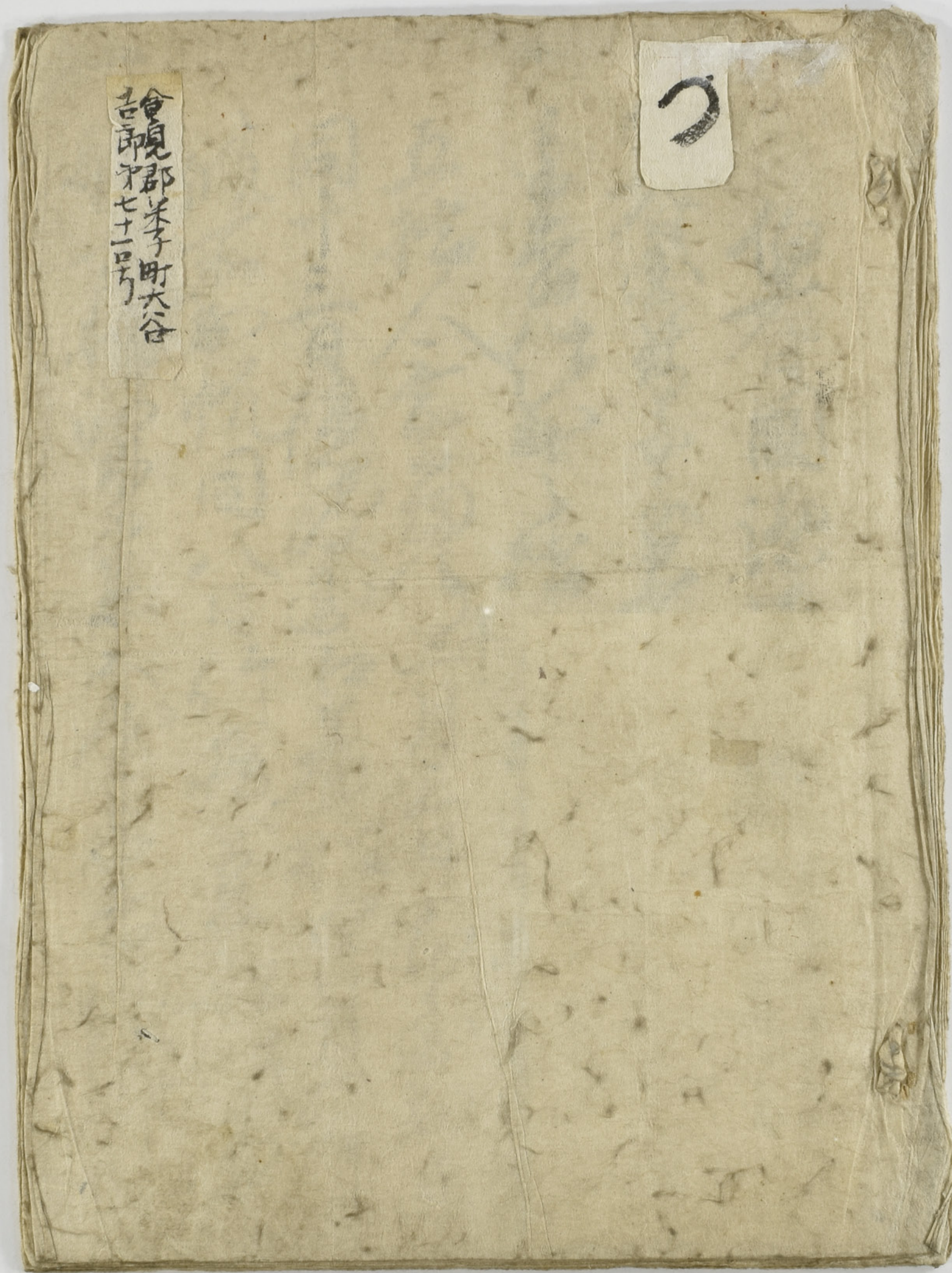




【大谷家文書】 1 - 11



朱下項戴仕居每戴竹篋紅衣
相調物之之此與皮同神事貌
三言此公則御朱下字為仕
新王公事

一、東中右二艘之船行路浪り
放たぬ松の船帆、舟を破れり
我々女主人、則十五船帆、家三

神子月三日破曉陽帆を食連
 風二艘及び志何由漂着し
 各船を九宮船洋中二重漂着
 主同方を頼りて時分朝飯取
 内ちる人云るに謝りて水汲
 北浦に破損し船に之の時を
 陸遊より我れ交に船解人等

我々もくちんまを列に
宿を頼み二三日の間に
振舞うはけり音遠る上家敷
大勢相見えしと内城須ら
切麦酒有振舞うはけり
ちんまの城下より熱入自遠
為はけりちんま有振舞

中集

一七月中より人々を城に
せんとす内須ら酒を振舞
う人々より三日遠るはけり
中集
一同方より酒を振舞うはけり
菓子酒有振舞うはけり

中ノ夜湯を振舞ふ此は年
運る七月廿一日は月る也
同方なりと雖もさう
しとて然るは時とく雖も此
酒者菓子振舞ふらし事
一七月廿一日は月る也
杖持の端宿者なりと云ふ此

乞ふ事なり
一八月廿一日は月る也
らとて侍る也と云ふ此
家ノ能く侍る也と云ふ此
く及らぬと云ふ此
十月廿一日は月る也
下とて侍る也と云ふ此

人教之人家門受感

一 漢宗 檀林寺 集衆人 漢寺 感疾 上寺
一 禪宗 且如寺 同國 安國寺 日疾 寺
一 同宗 且如寺 同國 福院 日疾 寺
一 同宗 且如寺 同國 西福寺 日疾 寺
一 淨宗 且如寺 同國 大蓮寺 日疾 寺
一 同宗 且如寺 同國 淨寺 日疾 寺

一 同宗 且如寺 同國 同寺 日疾 寺
一 同宗 且如寺 同國 同寺 日疾 寺
一 真宗 檀林寺 集衆人 一福寺 日疾 寺
一 禪宗 且如寺 同國 法海寺 日疾 寺
一 同宗 且如寺 同國 安國寺 日疾 寺
一 真宗 且如寺 同國 一福寺 日疾 寺
一 法宗 且如寺 同國 本教寺 日疾 寺

一
禪家日知錄

萬壽同光

一
同宗
且
等
同
也

同書 日録 抄

一有宗檀那像卷五

一福寺同本七

一得宗且野同

法地曰壤二角也

一
同
家
檀
香
環
佩
玉

萬壽同登

一同家且

同音同義

一淨宗且好古同也

海香月露白

一
同
家
日
子

同國

同寺曰菴曰菴

右我室中諸君在中國船中
各處多有當家之事務也列位
相和親友之橫川等又方是
也乃平前七相和親友切望
請在船中住此市船破損後

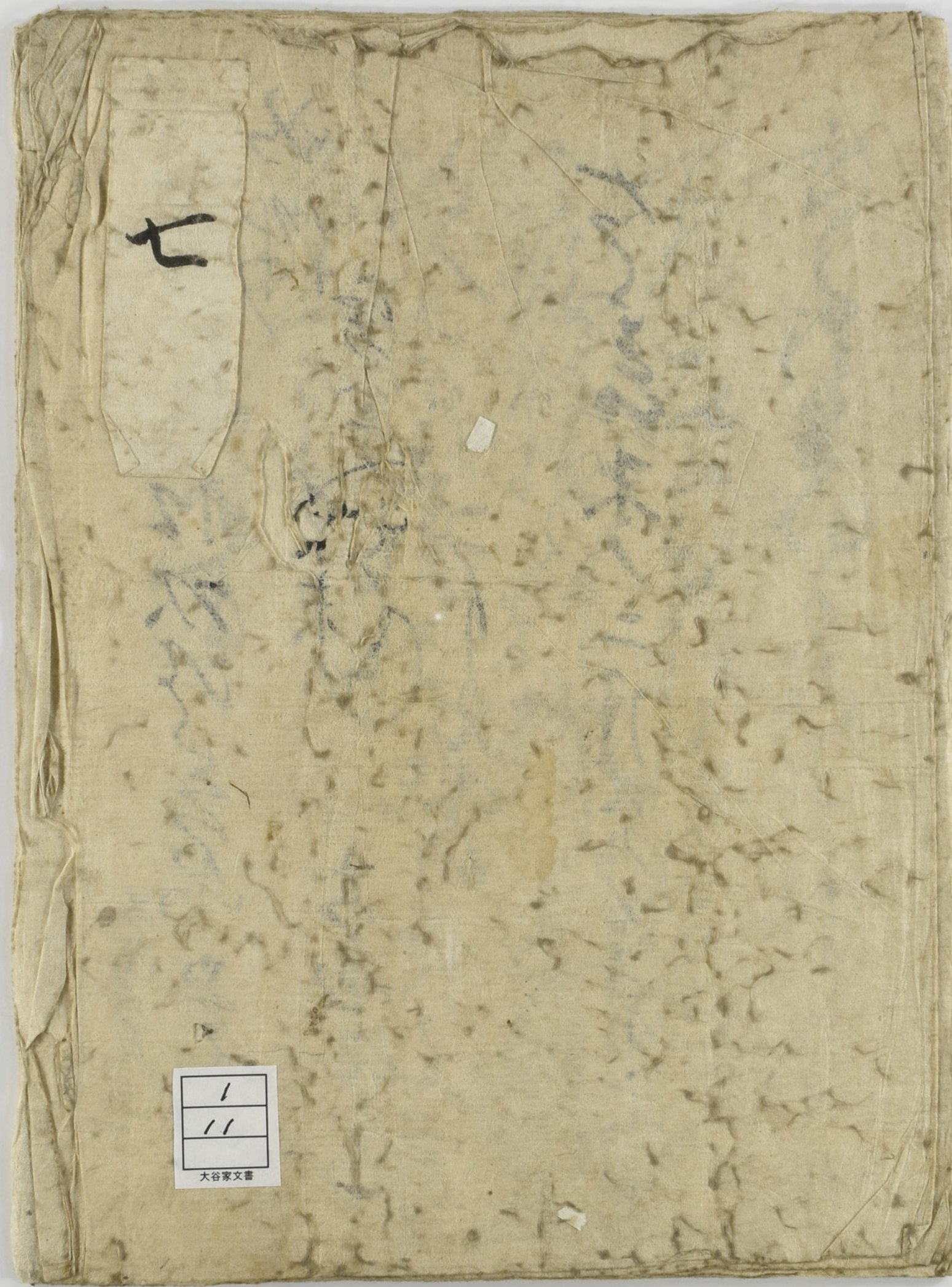
古くは神代卷に於て
五部云々を記し
及破損刻捨りしを
致念を揚給ふし
其公に

十月廿

右に記永次
此の末
此の

寛文七年
二月廿六日

左に記末
二月九日



1
11

大谷家文書

【大谷家文書】 1 - 11